

施策35 地域商業の活性化

施策の目指す姿

商業者に対し、必要な支援策を実施することで、消費が喚起され、地域商業が活性化し、消費活動も安定しています。

施策の現状

少子高齢化や経済環境の変化による消費の低迷が続く中、消費者のライフスタイルも多様化し、インターネットによる通信販売などが一般化するなど、消費購買手段は大きく変化しています。本市の地域商業は、地域経済の発展や雇用の創出に限らず、市民の交流の場として、消費活動を支える役割を担ってきましたが、郊外型大型小売店舗の進出による商圈の変化や、市民のライフスタイルの変化などにより、活性化への道筋が見えにくくなっています。

このような中、近年は狭山市駅周辺を中心市街地として捉え、市街地の整備改善を経て地域商業の活性化を進めており、併せて、商店街の共同施設維持管理や、活性化に向けたイベントなどの活動を支援しています。

今後は、少子高齢化による地域社会の変化に対応し、地域が必要とするサービスを提供できるよう、更なる地域商業の活性化が求められています。

施策の課題

- 少子高齢化が進行する中、消費者が生活必需品を地元で購入できるように各個店の充実を図るとともに、駐車場の整備やバリアフリー化など、消費者が安心して買い物を楽しめる環境づくりが必要です。
- 地域商業が活性化し、市民の消費活動が安定していくためには、商業活性化に向けた施策の検討に加え、地域も一体となって商業者を支える仕組みづくりが必要です。

主なとりくみ

(1) 商業活動の活性化支援

- 地域の実情に応じ、事業者や商店街自身の取り組みを一体的に支援できるよう、狭山商工会議所と連携し、国や県の支援制度の活用を促進します。
- 狭山商工会議所と連携し、事業者を対象に経営診断や経営相談の活用を促すとともに、新規出店を希望する者に対し、必要な支援策を提供します。

(2) 消費活動の安定

- 大型店の立地に際して、地域の消費活動を支えつつ地域貢献が促進されるよう、ガイドラインに基づき協議します。
- 地域ニーズや消費者ニーズに応えるサービスを提供する事業者や地域活動団体の活動を促進します。

施策の成果目標

項目	実績値	目標値
	令和元年度	令和7年度
マルシェ ^{*1} や、まちゼミ ^{*2} などの事業者等の自主的な活動の実施件数	3件	6件

市民・団体・事業者などに期待する協働による行動

- 事業者が地域経済を支える一翼を担い、地域社会において重要な役割を果たしていることを理解しましょう。
- 商店街は地域の生活を支える基盤となっていることから、地域住民・商店街・市が一体となった取り組みを行うとともに、地元商店街での買い物を進めましょう。

関連するSDGsのゴール

- ゴール8 働きがいも経済成長も
- ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- ゴール11 住み続けられるまちづくりを
- ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう



※1 マルシェとは

その地域において自ら生産した農作物、水産物、畜産物、加工品及び工芸品などを持ち寄って販売する市場のこと。

※2 まちゼミとは

そのまちの企業やお店の人が講師となって、各専門分野の知識や情報などを無料で受講者に講習する少人数制のゼミのこと。